

「定数と報酬のあり方」検討スケジュール

年	月	会議回数	検討事項
R3	7	第1回会議	・ 諮問事項の検討スケジュールの協議
	8	第2回会議	・ 令和3年度芽室町議会公開講演会「議会力をアップさせる議員報酬・定数」
	10	第3回会議	・ 前回答申書（平成26年11月21日）の共通認識
			・ 議員研修会の提言確認（江藤俊昭議会サポーター：R3.8.22）
			・ 協議順位の検討（下記①～⑤の順）
			① 常任委員数・委員会数の検討
	11	第4回会議	・ 前回会議の振り返り
② 議員定数の検討			
12	第5回会議	・ 前回会議の振り返り	
		③ 政務活動費の検討	
R4	1	第6回会議	・ 前回会議の振り返り
			④ 議員報酬の検討
	3	第7回会議	・ 前回会議の振り返り
⑤ 答申（案）の検討			

※ 各会議における検討の結果、整理の熟度が低い際は、適宜、議運及びミーティング等による協議の追加あり。

※ 全員協議会は各会議の都度開催。モニター会議は第5回会議後及び第7回会議後に開催予定。

※ 各会議の結果は「議会だより」に掲載し、公表及び意見聴取。第7回会議終了後には特集記事の編集も要検討。

議会運営委員会所管主要事業スケジュール表(令和3年10月～4年4月)

NO	事業内容	10			11			12			1			2			3			4			
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
1	定数と報酬のあり方(議長諮問事項)																						
	(1)	議会運営委員会	●			●					●			●					●			●	
	(2)	全員協議会		●			●				●			●						●			●
	(3)	モニター会議										○									○		
(4)	議会改革諮問会議			●			●						●					●					
2	モニター会議				●							●								●			
3	議会報告と町民との意見交換会																						
4	白樺高校連携協定事業				●	●							●										
5	芽室高校意見交換会								●														
6	外部評価																						
7	自己評価																						

<特記事項>

- ① 定数と報酬のあり方検討 議運→全員協議会+モニター会議+議会だよりのフローで、住民参加の手法を用いる。議会改革諮問会議の検討も並行し、改正時はR4.6月議会提案目標。
- ② モニター会議 テーマ「議会広報活動について」(R3.10.29)/テーマ「議員の報酬・定数のあり方について(中間報告)」(R4.1.中)/テーマ「議員の報酬・定数等のあり方について」(R4.3.下)
- ③ 意見交換会 「意見交換会」と「報告会」の定義を明確にし、行政(町)が行う広聴制度との差別化を意識した事業の制度設計を目指す。
- ④ 白樺高校連携協定事業 R3年度の事業実施にあたり、連携協定に基づく先方からの要請(議員の来校による生徒との研修事業)に対し、議会BCPとの整合を図る根拠設定を要する。
R4年度以降の取組みとして、公務員コース新設(R4年度)を踏まえた事業展開要検討。また、主権者教育として生徒会役員選挙での模擬投票等も有効事業。
- ⑤ 芽室高校意見交換会 石森教諭(新聞局顧問)異動の可能性大。授業(公民)の一環に移行して事業継続する際は、少なくとも1年前(R3.10-12)から高校とwinwinの目的設定が必須。
- ⑥ 外部評価 山崎幹根教授(議会サポーター)の助言では、新たな評価手法の検討は不要で、既存機能の活用評価で是との見解あり。
- ⑦ 自己評価 山崎幹根教授(議会サポーター)の助言では、評価基準の議会基本条例の条項を「かみ砕いた解釈」とし、議員が評価しやすいように改善を要する見解あり。